

国民体育大会関東ブロック大会 バasketボール競技 試合運営に関する確認事項（審判）

1. コーチの協力について

(1) ゲーム前のコーチのサイン

- ・本大会のプログラムにはチームスタッフは監督1名しか記載されていないため、実際にヘッドコーチとして指揮を取る人が、ゲーム開始5分前までにサインをする。

(2) ゲーム中に立ち続けること

- ・ヘッドコーチとアシスタントコーチは、どちらか1人であれば、ゲーム中にチームベンチエリア内で立ち続けて指示をしてもよい。
- ・アシスタントコーチはゲーム中、審判に話しかけることはできない。

(3) タイムアウト（キャンセルする場合も同様）

- ・ヘッドコーチまたはアシスタントコーチが、スコアラーステーブルに行き、定められたシグナルを手で示して請求する。
- ・「ショットが成功したらタイムアウト」などの条件をつけることはできない。

(4) 交代

- ・交代要員自身がスコアラーステーブルに行き、手で定められた交代のシグナルをするか、スコアラースターにはっきりと交代の申し出を伝える。交代席は設けないので、交代が認められる時期まではTO席前に座って待機する。
- ・ゲームキャプテンがコートから退くときは、コーチがコート上でキャプテンの役目をするプレイヤーの番号を審判に伝える。

(5) インテグリティについて

- ・コーチのプレイヤーに対する暴言および暴力的行為は、「JBA プレーコーリング・ガイドライン」に基づき、テクニカルファウルの対象とする。

2. プレーヤーの協力について

(1) ユニフォーム

- ・シャツをパンツの外に出すようにデザインされたもの以外は、コート内ではシャツをパンツの中に入れる。出た場合は自発的に入れる。

(2) その他の身につけるもの

- ・他のプレイヤーに怪我させる恐れがあるものを着用してはならない。指の爪は短く切っておく。

3. チーム全員の協力について

(1) マナー

- ・コーチおよびベンチ・メンバーは、ゲームに出場しているプレイヤーを除き、マスクを必ず着用しベンチに座る。「顎マスク」でプレイヤーに指示を行うなど、飛沫が拡散する行為は控えるようにご協力頂きたい。
- ・チーム関係者、応援を含めて不適切な言動はしない。

(2) ゲームのスムーズな運営

- ・各クォーターの始めは、合図が鳴った時にはゲームを始められるように準備する。
- ・タイムアウト後のゲームの再開は、1回目（50秒）の合図でコートに出て、2回目（60秒）の合図でゲームが始められるようにする。

(3) TOへの確認

- ・得点やファウルの数等をTOに確認する際は、ルールブックに従い「コーチまたはアシスタントコーチ」が、「ボールがデッドになりゲームクロックが止められているとき」に行う。

(4) トレーナーについて

- ・トレーナーは、ビブスを着用の上、ベンチエリア外に準備された所定の席を使用する。